

中國文化大學 104 學年度日間學士班暑假轉學招生考試試題

系組：日本語文學系三年級

日期節次：104 年 7 月 11 日第 2 節

科目：日文習作

I. 以下の文を 100 字以内に要約しなさい。(30%)

ちょうど一週間前の6月25日、お笑いトリオ・森三中の大島美幸さんと、夫で構成作家の鈴木おさむさんが、第一子を「笑う福」と書いて「えふ」と名づけたと公表して話題を呼びました。「笑う門には福来たる」から「笑」と「福」の2つの漢字をとったそうですが、この2文字を見て大方の人が思い浮かべるのは、「しょうふく」という読み方でしょう。それを、あえて「えふ」という珍しい読み方にしたことには驚いた人が多かったようです。しかし近年では、芸能人に限らず、こうしたとてもユニークな名前を子供につける親が増えています。従来ですと、漢字の意味から命名するケースが多かったのですが、最近、音を最初に決めて後から漢字を当てはめる命名が主流になっています。

現在、インターネット上で検索すると、「まりなる」、「あげは」、「しゅがあ」、「ぴゅあ」など、見たこともない珍しい名前が出てきます。本当にこういう名前の子供が実在するのか、その真偽のほどは定かではありません。しかし、実際に役所に届けられた名前が掲載されている自治体の広報誌を見てみると、読みが通常の音訓とは異なっていたり、これまでの日本語の名前にはなかった音の響きをもつ難読の名前、いわゆる「キラキラネーム」が非常に目立つのは確かです。

(伊東ひとみ「命名と漢字文化」 NHK 解説委員室 視点・論点より抜粋)

II. 「少子化の問題」をテーマに作文を書きなさい。(400字から500字)(70%)

説明：ここ数年日本でも、台湾でも、子供の数が減っており、少子化が進んでいます。日本や台湾の少子化について知っていることや、少子化が進むとどうなるか、また、少子化を解決するにはどうすればいいか、あなたの考えを書いてください。